

令和5年度国際友好都市訪問事業
報告書

目次

市長挨拶	3
1. 令和5年度国際友好都市訪問事業	4
2. R P V市議会	5
3. R P Vへの8月訪問について	7
4. R P Vへの9月訪問について	20
5. 日程・参加者	43
6. 全体日程表	44
7. R P V訪問の経緯	46
8. 米国及びカリフォルニア州の自治制度について	48

市長挨拶

国際友好都市を締結しているアメリカカリフォルニア州ランチョパロスベルデス市（以下「RPV」）において、令和5年8月5日に国際友好都市締結3周年記念イベント及びRPV市制50周年カウントダウンイベント、同年9月9日にRPV市制50周年記念イベントが開催されるにあたり、国際友好都市関係者としてイベントに招待されました。

令和5年8月3日から7日までの5日間は、小竹副市長と笹沼議員、随行職員を含む5名で訪問し、同年9月7日から13日までの7日間は、私と橋本教育長、石岡議員、岡村議員、大河原議員、随行職員を含む9名で訪問しました。

RPVとは、令和2年8月5日に国際友好都市を締結した後に、新型コロナウイルスが世界的に流行したことから、オンラインでの国際友好都市交流を実施してきたところでしたが、今回の訪問で初めて、face to faceでの交流ができたことにより、更なる親交を深めることができたとともに、今後の交流の促進につながる意見交換についても行うことができました。

両訪問ともに、各イベントでのおもてなしや多くの市内施設の視察先等をご用意いただき、様々な方々との交流を行うことができ、改めて、本市との国際友好都市交流に対するRPVの熱量を肌で感じることができました。また、バーバラ・フェラーロ市長の挨拶の中で「今後、さくら市との更なる交流の深化に力を入れていきたい」旨の言葉をいただき、今後の友好関係に対して大きな期待を感じることもできました。

その他にも、9月訪問時には、RPVを含む広域の教育を管轄するパロスベルデス半島統一学区の教育事務所と本市中学校と姉妹校連携を締結しているミラレステ中学校を訪問して意見交換を行い、ALTの現地採用や教員相互の人事交流の促進、ミラレステ中学校からのホームステイの受入れの実現に向けて協議していくこととなりました。

今回の訪問で築いた新たなつながりを今後の本市施策の推進に役立てるとともに、翌年度の本都市制20周年にはRPVの皆様をさくら市に招待して、国際友好都市交流を加速的に進めて参ります。

結びに、今回の国際友好都市訪問を実施するにあたり、ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。

さくら市長 花塚 隆志

1. 令和5年度国際友好都市訪問事業

1. 訪問の経緯

令和2年8月5日にアメリカカリフォルニア州ロサンゼルス郡ランチョパロスベルデス市（以降 RPV）と国際友好都市を締結。

現地にて令和5年8月に国際友好都市締結3周年記念イベント及びRPV市制50周年カウントダウンイベントを開催、また、9月にRPV市制50周年を迎えるにあたり、先方より両イベントに友好都市関係者として招待されたことにより訪問に至る。

2. RPVの概要

(1) 英語標記

Rancho Palos Verdes (スペイン語で Rancho : 農場 Palos: 枝 Verdes : 緑 の意味)

(2) 人口

約4万2千人（さくら市と同程度）

(3) 面積

34.89 k m²（さくら市の約1/4）

(4) 市の誕生

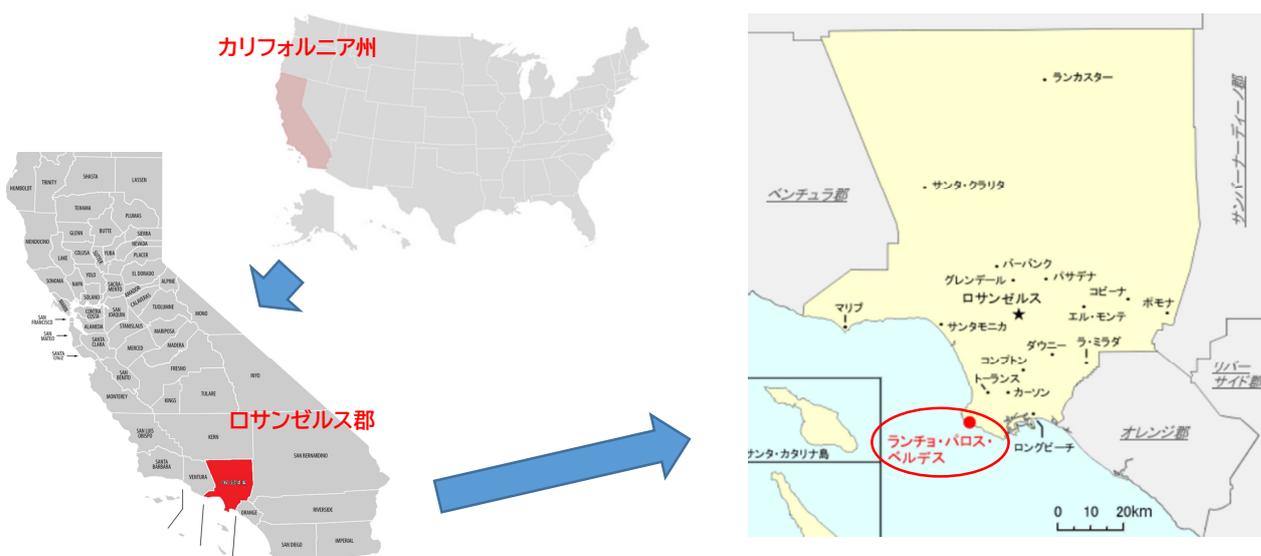
1973年（合併により誕生）

(5) 市の位置

RPVは、アメリカ合衆国・カリフォルニア州・ロサンゼルス郡に位置している。日本から直行便で行くことができるロサンゼルス国際空港ともアクセスが良い場所。太平洋にも面しており、海岸線は約12キロもある。



※市章



2. RPV 市議会

1. RPV 市議会の概要

市の議員は偶数年の 11 月に行われる選挙で選ばれた 5 名の議員を 4 年間の任期で任命し、構成されている。また、市長と副市長は、市議会議員によって毎年市議会の中から選出される。定例会議は、毎月第 1 火曜日と第 3 火曜日に開催される。

委員会は、市議会諮問委員会として①計画委員会②緊急事態対策委員会③市民センター諮問委員会④財務諮問委員会⑤インフラ管理諮問委員会⑥水質洪水防御プログラム監視委員会⑦交通安全委員会の 7 つの委員会が住民によって構成されている。

2. RPV 市の市長、副市長、議員



○バーバラ・フェラーロ市長

1995 年から 2003 年まで同市議会議員を務め、2019 年に再選出された。スペインに住んでいた経験もあり、2000 年にはスペイン語教師として教師のキャリアをスタートした。ランドルフ・メイコン女子大学でスペイン語の学士号、テキサス大学で教育修士号を取得している。



○ジョン・クルークシャンク副市長

土木工学分野での 30 年以上の経験があり、現在は 2 つのエンジニアリング会社の社長兼 CEO を務めている。2017 年には、米国土木学会の研究員に任命され、南カリフォルニア大学土木工学部から年間最優秀卒業生を受賞。同年に市議会議員に選出され、2020 年には市長も務めた。



○エリック・アレグリア議員

同市議会の 2 期目を務めており、2021 年には市長を務めた。数年間にわたる医療分野での経営幹部としての経験や農場労働者と協働した非営利プログラムにも携わった。現在は南カリフォルニア大学で行政学の非常勤講師を務める傍ら、クレアモント大学院大学の公共政策の博士号候補にもなっている。



○デビッド・L・ブラッドリー議員

2022 年に市長を務め、現在も議員として半田園地域の維持に注力している。議員選出前は、計画委員会や財務諮問委員会等の委員も務めた。専門的には、防衛や航空宇宙産業に 30 年以上携わっており、現在もロサンゼルスで様々なプログラムに関わっている。



○ポール・セオ議員

アメリカ陸軍士官学校を卒業後、アメリカ陸軍として朝鮮の非武装地帯の共同警備区域の国連安全保障大隊等に勤務。2015 年から 2021 年まではロサンゼルス郡の地方検事代理を務めた。その後は、カリフォルニア州司法省に司法副長官として入省し、現在は、特別検察課に勤務している。